資料	1

令和４年７月　鹿島市定例記者会見

日　時　令和４年７月１３日（水）１０時００分～

場　所　市役所　３階　庁議室

１．開　　会

２．市長の発言

・質疑応答

３．団体等からのお知らせ

・鹿島市民立生涯学習・文化振興財団からのお知らせ（資料 2-1）
・鹿島おどり実行委員会からのお知らせ（資料 2-2）

４．市からのお知らせ

・ラムサール条約推進室からのお知らせ（資料 3-1）
・生涯学習課からのお知らせ（資料 3-2）
・都市建設課からのお知らせ（資料 3-3）

５．行事のお知らせ

・別紙参照

６．閉　　会

次回は
◆８月定例記者会見
８月１０日（水）１０時００分～
市役所　３階　庁議室
◆問合せ・連絡先　総務部企画財政課
広報 ICT 係　　中島　℡　0954-63-2114

資料	2-1

７月定例記者会見チラシ類

令和４年度第３回えいぶる事業

１．第１回かしまこどもフェス

令和４年度第４回えいぶる事業

２．なつかしの映画上映会

床の間コーナー　７月・８月・９月展示

３．染川浩美　彫刻・絵画展　～思いを形に～

夏休み展示

４．読書感想文を書こう！

としょかんの夏休み教室

５．ふしぎ現象を楽しもう★身近なものからモノ作り

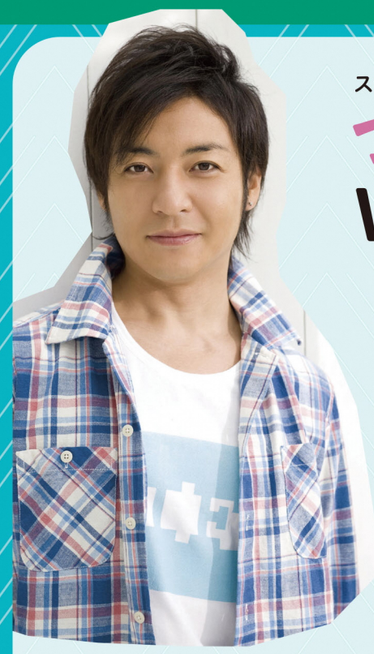
あそんで、まなんで、たのしくつながる。

第1回 かしまこどもフェス

7/31（日）
10:00
-
16:00

鹿島市生涯学習センター
エイブル 全館

入場無料



ステージイベント

つるのさんとWAになって話そう

開演/14:00
（開場/ 13:30）
場所/ エイブルホール

入場無料
要申込

子育ては「ワッ」という驚きの連続、
だからこそ助け合いの「輪」があると安心。
パパ・ママも一緒に子育てについて考える
座談会形式のトークライブ！

パネリスト

つるの 剛士（タレント・アーティスト）
鹿島のパパ・ママ代表
MC / 高橋 早紀（フリーアナウンサー）

入場無料。要申込。
※詳しくは下記、またはホームページをご覧ください。

申込フォーム

お申し込みについて＆注意事項

入場無料ですが、申込が必要です。
Webまたは郵便はがきでお申込みください。

◆Webの場合
かしまこどもフェス及びエイブルのホームページ内
「申込フォーム」よりお申込ください。
※右上記載のQRコードよりアクセスいただけます。

◆ハガキ
官製はがきに必要事項を明記して、下記郵送先にお送りください。

（あて先）
〒849−1312　鹿島市大字納富分2700番地1
鹿島市生涯学習センター・エイブル2階
「かしまこどもフェス ステージイベント申込」係

◆注意事項
・応募多数の場合は、抽選のうえ、当選の方には入場券となるハガキを郵送します。当日、忘れずにお持ちください。
・申込はお一人様1件に限ります。複数申込をされても1件として取り扱います。
・記入に不備があった場合は無効となりますのでご注意ください。

◆申込期間　6月10日（金）～ 7月12日（火）
※Web申込は10時～
※ハガキ申込は**7/12必着**

必要事項
①郵便番号　②住所　③名前　④電話番号
⑤希望人数（5名まで）
※3歳未満のお子さんの膝上鑑賞の場合、人数に含みません。

あそび＆まなびブース

※一部申込・材料代が必要なブースがあります。

フォトスポット
- 風鈴かざり
- 妖怪顔はめパネル

- こどもヘアメイク・フェイスメイク
- おはなしパパとえほんTime
- ナカシマファームさんのチーズづくり体験
- 出張木工教室

- 小児医療講演会
  「熱性けいれんについて」「おくすりの飲ませ方」
  リラックス空間でWAになってお医者さんと薬剤師さんに聞いてみよう!
- ミニまなびブース
  経口補水液ブース / 助産師による育児相談コーナー

【協賛企業】 高木建設株式会社　医療法人 天心堂 志田病院　LaLavell　森鉄工株式会社　MODE FASHION GROUP

【エイブルパートナー】
私たちはエイブル倶楽部を応援しています。
住みよい郷土と幸せを 佐賀西信用組合　東亞互機株式會社　(株)宮園電工　社会医療法人 祐愛会織田病院　Yutoku 祐徳自動車株式会社

注意事項
※ご来場の際には、マスクの着用・手指消毒・入場前の検温などの感染防止対策に、ご協力をお願いします。
※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、居住地での参加制限や、内容を変更する場合があります。

お問い合せ
（一財）鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2700-1
0954-63-2138　info@kashima-able.com

後援　鹿島市、鹿島市教育委員会、鹿島医会、鹿島市社会福祉協議会、 鹿島市保育会、佐賀新聞社、（株）ネット鹿島

主催　（一財）鹿島市民立生涯学習・文化振興財団、かしまこどもフェス実行委員会

どこからあそぶ？ なにからまなぶ？ AREA MAP

①ステージイベント 要申込

つるのさんとWAになって話そう

子育ては「ワッ」という驚きの連続、
だからこそ助け合いの「輪」があると安心。
パパ・ママも一緒に子育てについて考える
座談会形式のトークライブ！

14:00開演　エイブルホール（①）
※お申し込みの詳細は裏面をご覧ください。

パネリスト：つるの 剛士 さん

1975年5月26日生まれ / 福岡県北九州市出身

「ウルトラマンダイナ」のアスカ隊員役を熱演した後、2008年に“羞恥心”を結成しリーダーとして活躍。一躍時の人として人気を博す一方で、2009年にカバーアルバム「つるのうた」をリリースし35万枚を売上げオリコン1位を記録。続いてセカンドカバーアルバム「つるのおと」では25万枚を売上げ、トータル60万枚のセールスを記録し、以降精力的に音楽活動を行っている。
将棋・釣り・楽器、サーフィン・野菜作りなど趣味も幅広く、好きになったらとことんやらなければ気が済まない多彩な才能の持ち主。

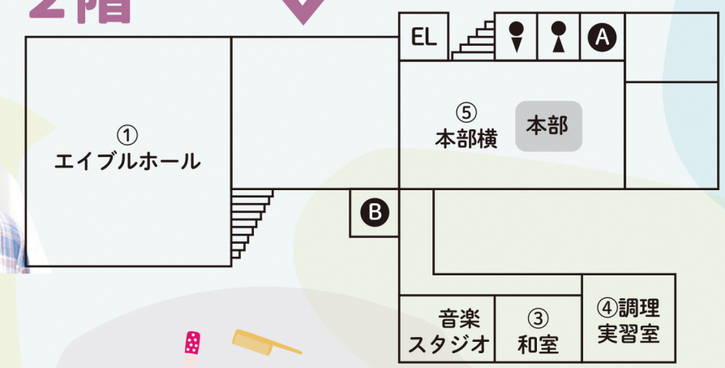
2022年3月、小田原短期大学通信教育課程/こども保育コース卒業。幼稚園教諭二種免許取得。二男三女の父親。

MC：高橋 早紀 さん

アナウンサー。2児の母。
NHK高知放送局、長崎国際テレビのアナウンサーを経て、結婚を機に福岡でフリーアナウンサーに。メディアの仕事だけではなく、司会業や「ママ向け・子ども向けの話し方講座」講師など幅広く活動。自身の絵本のある子育ての経験を生かし、絵本の読み聞かせ活動にも力を入れている。
話し方教室「アナトークスタジオ」主催（http://ana-talk.com/）。

ちいさなお子さま連れでも安心！
授乳スペース（Ⓐ）・オムツ替えスペース（Ⓑ）や
ベビーカー置き場をご用意しています。

2階



10:00〜14:00
1階エントランス（②）

②こどもヘアメイク・フェイスメイク

プロの美容師がお手伝い♪ おしゃれに変身！

要申込　※先着20名、参加無料

③小児医療講演会

**リラックス空間でWAになって
お医者さんと薬剤師さんに聞いてみよう！**

講師：樋口直弥さん（小児科医）　「熱性けいれんについて」
　　溝上泰仁さん（薬剤師）　「おくすりの飲ませ方」

10:00開場 / 10:30開始　2階 和室（③）

要申込

④ナカシマファームさんのチーズづくり体験

大人気！ 親子でなが〜い さけるチーズを作ろう！

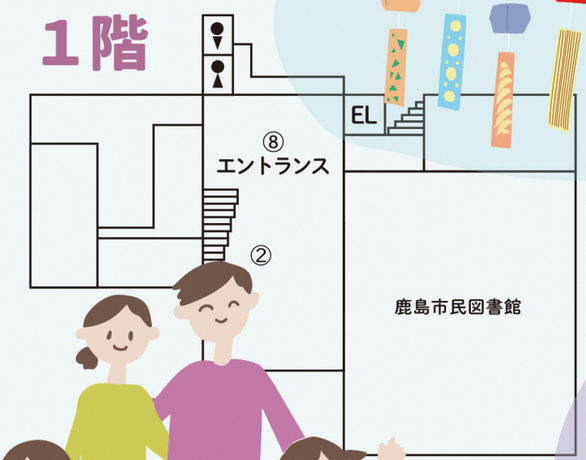
10:30〜12:00（受付10:00〜）
2階 調理実習室（④）
※材料代1,500円 /1組（定員5組）
※対象：小学生以上

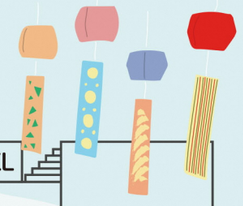
⑤ミニまなびブース　10:00〜16:00　2階 本部横（⑤）

経口補水液ブース
夏に大活躍する経口補水液をまなぼう♪
協力：大塚製薬株式会社

助産師による育児相談コーナー
「こんなこと聞いていいの？」という子育てや身体のお悩みはありませんか？
協力：（一社）佐賀県助産師会「まちの助産所」
※まちの助産所：「女性とその家族の健康と幸せのため！」を合言葉に、地域や病院などの所属を越えて活動している助産師さんたちの団体です。

1階





⑧風鈴かざり

ゆらゆら揺れる色とりどりの紙の風鈴たち
目で夏を楽しもう！

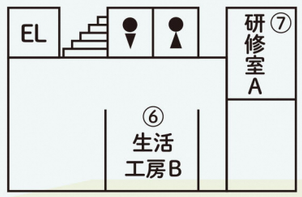
常時開設　1階エントランス（⑧）

⑨妖怪顔はめパネル

日本の夏といえば妖怪?!
妖怪になりきって写真を撮ろう！

常時開設　館内 どこにあるかな？

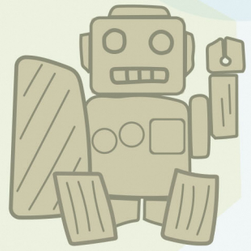
3階



⑥出張木工教室

組み立てカンタン！
小さなお子さんもOK！
木材を使ったおもちゃ作り

常時開設
3階 生活工房B（⑥）
※材料がなくなり次第終了。
※材料代500円/1セット。



要申込　※先着15名

⑦おはなしパパとえほんTime

絵本の読み聞かせ
協力：鹿島市民図書館

10:45〜11:15
3階 研修室A（⑦）

要申込 ・・・ このマークのあるブースは事前のお申し込みが必要です。
※「つるのさんとWAになって話そう」については裏面をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせ
（一財）鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2700-1
0954-63-2138
info@kashima-able.com

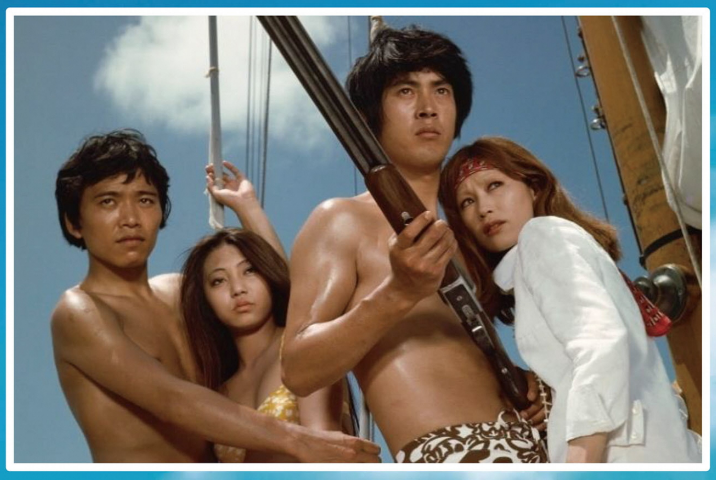
申込フォーム

令和４年度 第４回えいぶる事業　優秀映画鑑賞推進事業

なつかしの映画上映会

8月27日(土)・28日(日)エイブルホール

『伊豆の踊子』
山口 百恵、三浦 友和、中山 仁 他 1974 年



『八月の濡れた砂』
村野 武範、広瀬 昌助、テレサ 野田 他 1971 年

『めぐりあい』
酒井 和歌子、黒沢 年男、田村 亮 他 1968 年

『忍ぶ川』
加藤 剛、栗原 小巻、永田 靖、信 欽三 他 1972 年

8/27（土）	❶10：00～11：22	伊豆の踊子（82 分）	8/28（日）	❶10：00～12：00	忍ぶ川（120 分）
	❷12：30～14：01	めぐりあい（91 分）		❷13：00～14：31	八月の濡れた砂（91 分）
	❸14：20～16：20	忍ぶ川（120 分）		❸14：50～16：12	伊豆の踊子（82 分）

■ 2日通し券　《全席自由・前売当日共》※消費税込
大人／【一般】800円　大人／【会員】500円
高校生以下／無 料（要整理券）

■ 発　売　日／7 月 16 日(土)
■ プレイガイド／エイブル2階事務局、ゆめタウン武雄
■ お問合せ先／鹿島市生涯学習センター・エイブル
☎:0954-63-2138　ホームページ▶

※車イス席あり。事前にお申込みください。
※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。
◎今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催を延期、または中止する場合があります。

主　　催：一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団、国立映画アーカイブ
後　　援：鹿島市、鹿島市教育委員会、佐賀新聞社、株式会社ネット鹿島（予定）
特別協力：文化庁、（社）日本映画製作者連盟、
全国興行生活衛生同業組合連合会、（株）松竹

【エイブルパートナー】
私たちはエイブル倶楽部を応援しています。

住みよい郷土と幸せを 佐賀西信用組合　東亞互機株式會社　(株)宮園電工　社会医療法人 祐愛会 織田病院　Yutoku 祐徳自動車株式会社

染川浩美 彫刻・絵画展
～思いを形に～

［期間］　令和４年７月５日（火）　～　９月30日（金）

【第１期】　７月５日（火）～７月31日（日）
【第２期】　８月２日（火）～８月28日（日）
【第３期】　８月30日（火）～９月30日（金）

７月から９月まで、鹿島市在住の作家、染川浩美さんの作品を３期に分けて展示します。

染川さんは佐賀大学教育学部特別教員養成課程美術科を卒業後、中学校の美術教師として勤務しながら、制作活動をされています。

「彫刻集団佐賀」や「グループニケ女たちの彫刻」、「鹿島美術人協会」、「佐賀県美術協会」に所属し、意欲的に活動中です。

平成７年、鹿島市立西部中学校 20 周年記念碑『飛翔』（ブロンズ像）を制作、平成 19 年には嬉野市「ひとにやさしいまち」宣言記念碑『ふれあい』を制作されています。

令和元年、日展の第３科（彫刻）に初出品した『明日に向かって』で初入選し、令和３年には『コロナよ去れ!!』と題した作品で入選されました。

第１期は、日展初入選作品『明日に向かって』や絵画作品を展示します。床の間コーナーで、染川さんの作品を展示するのは今回が初めてです。

ぜひ、ご鑑賞ください。

▲「明日に向かって」

ギャラリートークを開催します

日 時：８月11日（木・祝）10時～
場 所：エイブル　３階 研修室
講 師：染川 浩美さん

※要事前申込。エイブル２階事務局か電話で受け付けています。新型コロナウイルス感染状況によっては、変更になる場合があります。
　当日はマスク着用の上、ご参加ください。受付で検温させていただきます。

一般財団法人
鹿島市民立生涯学習・文化振興財団

鹿島市生涯学習センター・エイブル
床の間コーナー担当　小池・梶山

TEL/0954-63-2138
FAX/0954-63-3424

夏休み展示

読書感想文を書こう！

とき: 7月16日(土)～8月28日(日)

ところ: かしましみんとしょかん　じどうコーナー

読書感想文の本はもう決まったかな？

鹿島市民図書館では、期間中読書感想文に役立つコーナーを作ります！

読書感想文の書きかたのヒントも紹介します♪

市内小学校の校長先生のおすすめの1冊も紹介！

市内中学校図書委員さんのおすすめの1冊も紹介！

鹿島市民図書館　0954-63-4343

としょかんの
夏休み教室

ふしぎ現象を楽しもう★
身近なものからモノ作り

科学マジックと工作をするよ！ドキドキワクワクの発見がいっぱい！！

とき 8月21日(日)14時～15時

ところ エイブル3階研修室

講師 霜村 満氏（元小学校教員・鹿島夢マジック世話人）

対象 小学生　**定員** 15名　**参加費** 無料

≪申し込み≫
7月23日（土）
9：30～
図書館カウンターまたは
電話にて受付します

問合せ・受付：0954-63-4343
鹿島市民図書館

報道資料

令和4年7月11日

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料

報道機関　各位

部課名　商工観光課

件　　名	「第59回 鹿島おどり」の開催について
概　　要	昭和37年の大水害の翌年から市民が元気になるように始まった恒例のお祭りです。ここ2年間は新型コロナウイルスの影響を受け、中止となっておりましたが、開催に対するたくさんの声を多数いただき、3年ぶりの開催となります。 当日は、参加者が一堂に会し「鹿島一声浮立」・「鹿島小唄」「鹿島節」の3曲を踊ります。 今年は、新型コロナ流行後初の開催で、感染症対策を十分に講じたイベントとなり、これまでとは一味違った「鹿島おどり」となること間違いなしです。 参加者も観客も楽しめる市民総参加のお祭りとなり、「コロナに負けない鹿島」をアピールできると思います。
説　　明口	・日　時 令和４年８月５日（金）、６日（土）　19時30分 ～ 21時00分 ・場　所 鹿島市中心商店街　スカイロ―ド周辺
別添資料	☑ あり　　☐ なし

本件に関する問合せ先

所属	鹿島おどり実行委員会
氏名	田中　茂樹
TEL	0954－62－3942（鹿島市観光協会内）
FAX	0954－60－4946
Mail	

新型コロナウイルス感染予防対策に
ご協力ください

- ◉歩きながらの飲食はお控えください
- ◉マスクの着用にご協力ください
- ◉体調の悪い方の参加はご遠慮ください

令和４年 8／5(金)・6(土)

第59回

場所：鹿島市中心商店街
スカイロード周辺

両日 19：30～21：00（19：00集合）

鹿島おどり

主催：第59回鹿島おどり実行委員会　共催：鹿島市　お問合せ：鹿島市大字高津原4078（鹿島バスセンター１階）　☎0954（62）3942

ボートレース
チケットショップ 鹿島

報道資料

令和4年7月12日

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料

報道機関　各位

部課名	ラムサール条約推進室

件　　名	日本工営株式会社とのSDGsを通じた連携事業を始めます
アピールポイント	日本工営（株）とは肥前鹿島干潟SDGs推進パートナーとして現在業務提携を進めていますが、このたび、鹿島市はSDGs推進の先進地として日本工営（株）が現在開発中の自治体のSDGs達成に向けた取り組みを総合評価するセルフアセスメントツールTSUMUGI@ β版の実証地域に選ばれました。 ７月から実証実験を始め、SDGsの推進に努めます。
説　　明	・実施期間 令和４年７月１日～令和４年１２月３１日 ・実施内容 市役所各課がシステム（TSUMUGI@ β版）を利用して、業務内容を入力⇒SDGsの達成度の評価が出る⇒結果のフィードバック⇒結果を受けて、市は次年度以降の計画に反映、日本工営はシステムを改良する ・その他連携事業 結果の報告と共に、本市の業務をSDGsの目標に紐づける研修を連携して行う。
別添資料	☑ あり　　☐ なし

本件に関する問合せ先

所属	ラムサール条約推進室
氏名	室長補佐　江島　美央
TEL	0954-63-3416
FAX	0954-62-3717
Mail	ramsar@city.saga-kashima.lg.jp

2022 年 6 月 15 日
日本工営株式会社

自治体の SDGs 達成に向けた取り組みを総合評価するセルフアセスメントツール TSUMUGI@ β版リリース

― つくば市および法政大学との共同研究を経て、複数の地方自治体をパートナーに実証を開始 ―

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋浩明、以下「日本工営」）は、茨城県つくば市と法政大学川久保俊教授の協力のもと、地方自治体が SDGs の取り組み状況をオンラインで診断できるセルフアセスメントツール「TSUMUGI@」の開発に取り組んでいます。この度、「TSUMUGI@」のβ版が完成し、複数の地方自治体をパートナーに実証を開始します。

TSUMUGI@
あなたのマチからセカイへ

■ 開発の背景

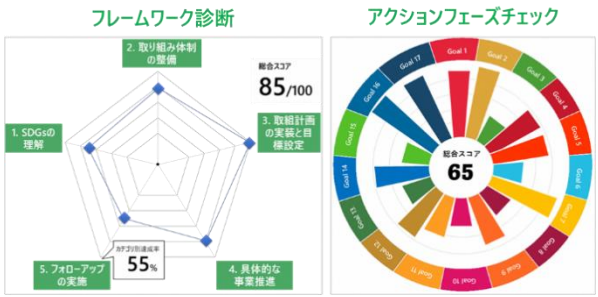
内閣府は SDGs アクションプラン 2022 において SDGs を原動力とした地方創生を掲げており、自治体は SDGs の達成に向けた取り組みの加速化が求められています。SDGs の視点を各種計画に織り込む自治体が増えている一方、その取り組み状況の評価や進捗管理手法が確立されていないことが課題となっています。そのような中、日本工営が 2021 年に開発した中小企業向けの SDGs 診断システム「KIBOH 2030」※1 の自治体版を求める声が複数寄せられたことが「TSUMUGI@」開発の契機になりました。

※1　2021 年 10 月 15 日　中小企業の SDGs の取り組みや事業機会を可視化する診断システム KIBOH 2030 本格開始
https://pdf.irpocket.com/C1954/fjAL/OcLY/klfz.pdf

■ 「TSUMUGI@」の概要

地方自治体における SDGs の取り組み状況を簡単に診断できるオンラインアプリケーションです。Web 上で設問に回答することで、取り組み体制や進捗状況を診断し、チャートやスコアで結果が可視化される、日本初※2 のセルフアセスメントツールです。2021 年より茨城県つくば市や、法政大学の川久保俊教授の協力のもと、利用する自治体側のニーズを踏まえながら、日本工営のコンサルティング業務のノウハウを活かし開発を進めてきました。

※2 日本工営調べ



総合診断結果のイメージ

各種スコア分析のイメージ

■ 今後の展開

「TSUMUGI@」（β版）は、2022 年 6 月より徳島県徳島市、佐賀県鹿島市をはじめとする自治体関係者と協働した実証を開始します。また同時に、本ツールの実証に参加いただけるパートナーを募集しています。実証を通して、様々なパートナーと共に社会解決型ビジネスを構築し、実証結果を踏まえ有効性の検証、改良を経て、2023 年 4 月の本格運用開始を目指します。

（パートナー募集に関する問い合わせフォーム：https://forms.gle/dvxdERN78a63fERd7）

■ 「TSUMUGI@」特徴

・現状把握のための作業負担を軽減し、総合的に評価：

SDGs は 17 ゴール／169 のターゲット／232 の指標から構成されることから、自治体全体の SDGs への取り組み状況を総合評価するには、時間と労力を要します。「TSUMUGI@」は、自治体内の複数の担当課が、それぞれ担当する分野の設問に回答できる仕様としました。各担当課からの回答結果の積み上げから自治体の取り組み状況やプロセスを総合的にスコアリングし、全体把握のための作業負担を省力化します。

・有識者と自治体との共同研究により中立性と透明性、有効性の高い診断基準を確立：

評価項目は、“地方創生 SDGs”を推進する内閣府の推進委員会で有識者が検討・公開した基準や指針に基づいて作成されています。また、設問はローカル SDGs 研究で第一人者の法政大学川久保教授が監修し、つくば市との共同研究を通じて有効性を検証し、中立性、信頼性の高い診断基準を確立しました。

・オンライン上での各担当部署の一元管理、経年的な変化の把握：

総合評価に加えて、ゴール別や担当部署別に、SDGs 達成に向けた取り組み状況を一元管理、また経年的な変化を把握することができます。それにより、様々な切り口から強みや課題を見える化し、事業の方向性の見直し・立案に活用が可能です。

・取り組み状況をわかりやすく見える化：

ツールの診断結果画面では、SDGs への取り組み状況が分かりやすいチャートやスコアで可視化されるので、庁内、市民・事業者などへの情報発信、意識啓発等に活用が可能です。

＜つくば市との共同研究について＞

つくば市は、「世界のあしたが見えるまち」をビジョンに掲げ、世界中の自治体が抱える共通の課題を率先して解決し、そのモデルを世界に発信する持続可能都市を目指しており、2018 年には「SDGs 未来都市」として選定されるなど、積極的に SDGs に取り組んでいます。

本ツール開発においては、社会の課題解決に資する未来技術の実証実験の実施を支援する「つくば市未来共創プロジェクト事業」として持続可能都市戦略室および関連部署の協力のもと共同研究および実証実験を行いました。

＜法政大学 川久保研究室について＞

環境工学の視点を踏まえた建築・都市環境に係る研究、SDGs を建設・都市づくりに活かす研究等を行っています。また、SDGs に積極的に取り組む方々を支援するオンラインアプリケーション、プラットフォームを開発・公開し、SDGs への取り組みの加速化に向けた活動を行っています。

ホームページ： https://kawakubo-lab.ws.hosei.ac.jp/

＜日本工営について＞

国内売上 No.1 の建設コンサルタント会社として、安全・安心な生活、豊かな日常を支える社会資本づくりに関わるコンサルティング事業やエネルギー事業をグローバルに展開しています。

ホームページ： https://www.n-koei.co.jp/

—本システム、パートナー募集に関するお問い合わせ先—
日本工営株式会社 環境技術部 サステナビリティ推進ユニット TSUMUGI@事務局
E-Mail: nk-sdgslocal-info@n-koei.co.jp

—本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先—
日本工営株式会社 コーポレートコミュニケーション室
TEL :03-5276-2454 Email c-com@n-koei.co.jp

報道資料

令和4年7月12日

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料

報道機関　各位

部課名　生涯学習課

件　　名	「鹿島市成人式」は、「鹿島市二十歳の集い」に名称が変わります。
アピールポイント	例年開催している「鹿島市成人式」は、令和4年度から「鹿島市二十歳の集い」と名称を変え、引き続き20歳を迎える方を対象に開催します。開催日は、令和5年1月8日（日）です。
説　　明□	令和4年4月1日に施行された民法改正に伴い、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。 鹿島市は令和2年度の段階で、成年年齢引き下げ後も20歳の方を対象に式典を開催する事を決定していましたが、具体的な式典の名称は未定でした。 今回、全国的な傾向や県内市町の状況も考慮し、18才を表す「成人」では無く、「二十歳」をお祝いする式典として、「鹿島市二十歳の集い（かしましはたちのつどい）」と名称を変更することを決定しました。 記 １　日　時　令和5年1月8日（日） ① 午前の部　11:00～12:00 【東部中校区（古枝・浜・七浦）】 ② 午後の部　15:00～16:00 【西部中校区（鹿島・明倫・能古見・北鹿島）】 ２　会　場　鹿島市生涯学習センター「エイブル」ホール ３　対象者　323人
別添資料	□ あり　☑ なし

本件に関する問合せ先

所属	生涯学習課
氏名	社会教育・文化係　江島賢一
TEL	0954－63－2125
FAX	0954－63－2313
Mail	shougai09@city.saga-kashima.lg.jp

ＪＲ肥前鹿島駅周辺整備基本計画について

１　内容

⑴　令和４年６月７日のＪＲ肥前鹿島駅周辺まちづくり会議及びデザイン検討会議（以下、「まちづくり会議」、「デザイン検討会議」という。）においてＪＲ肥前鹿島駅周辺整備基本計画（以下「基本計画」という。）の承認を受けた。令和４年６月１６日庁議にて市長に提案し、決定した。

⑵　今後については、今回策定した基本計画をもとに、デザイン監修を含む基本設計の核となる部分を県で担っていただくことになった。

２　経過

年　月　日	内　　容
令和２年　８月	ＪＲ肥前鹿島駅周辺整備全体構想策定業務委託
８月	ＪＲ肥前鹿島駅周辺整備検討委員会の設置
１１月	佐賀県ＫＩＺＵＫＩプロジェクト参画表明
令和３年　３月	市議会全員協議会（全体構想策定の進捗状況報告）
７月１９日	市議会合同特別委員協議会（全体構想（素案）の説明）
７月２９日	第６回検討委員会（全体構想（案）の承認）
８月２６日	市議会全員協議会（全体構想（案）の説明）
９月	９月補正予算上程、可決 （基本計画・基本設計等業務委託料）
１０月～	全体構想（案）の周知・説明及び市民参加の取組 ・全体構想（案）の市報掲載 ・まちづくりシンポジウムｉｎ鹿島の開催 ・個別団体説明会（出席者　約１，１７９人） ・アンケートの実施（回収件数　９１８件）
１０月２０日	令和３年度　都市計画審議会（第１回懇談会） ・委嘱、審議会位置づけ、全体構想（案）説明
１１月　９日	第７回検討委員会（全体構想の承認）
１１月	ＪＲ肥前鹿島駅周辺整備基本計画･基本設計等業務委託 （令和３年度～令和５年度）業務開始
１１月２６日	市議会全員協議会（アンケート意見収集結果説明）
１２月～	基本計画策定に向けた協議の実施 ・デザイン指針専門部会：鹿島市建築士会とデザイン指針協議 ・交通専門部会：交通事業者や警察署への協議 ・建築専門部会：ＪＲや土木事務所建築主事協議 ・広場専門部会：ワークショップ結果による検討

	・利活用専門部会：若手商業者等ヒアリング ・基本計画ワークショップ：機能配置集約
令和４年　２月	県議会において知事が駅舎とロータリーについて支援表明
３月	ＪＲ肥前鹿島駅周辺デザイン検討会議及びＪＲ肥前鹿島駅周辺まちづくり会議の設置
３月２８日	第１回まちづくり会議、第１回デザイン検討会議 （各専門部会からの報告及び機能配置原案の検討）
５月２０日	市議会合同特別委員協議会 （基本計画策定の進捗状況報告）
６月　７日	第２回まちづくり会議、第２回デザイン検討会議 （基本計画案の承認）
６月　９日	市議会まちづくり特別対策委員会 （基本計画策定の進捗状況報告）
６月１６日	基本計画の庁内決定
６月２７日	市議会全員協議会（基本計画の報告）
７月１１日	地元関係者説明会（基本計画の説明）

３　今後の展開（スケジュール）

令和４年　７月１３日	７月定例記者会見（基本計画の説明）
９月　１日	広報かしまに基本計画（概要版）を折り込み
９月２３日	西九州新幹線暫定開業、並行在来線特急減便のスタート
令和５年以降	詳細設計着手（事業者毎）

４　ＪＲ肥前鹿島駅周辺整備基本計画について

・別紙により説明

５　その他

以上

1）整備課題の抽出

（1）ヒアリング・アンケートでの意見・要望

・委員の皆様、市民グループ、NPO、事業者様等 147 名の方にヒアリングを行いました。（令和 2/10/14～令和 3/7/19）
・駅およびバスセンター利用者にアンケートを行いました。（131 名、令和 3/1/27～2/2 実施）
・鹿島高校の学生さんアンケートを行いました。（659 名、令和 3/12/4 実施）

全体構想
◎駅舎や駅前広場だけでなくその周辺も含めた構想に
◎自然環境に配慮して、鹿島を印象付けられる整備を

駅前広場
◎イベントスペースの確保（賑わい空間の創出）
◎緑のある公園・ベンチ

駅周辺
◎賑わいを創出する各種商業施設
◎働き方改革等に対応できるオフィス関連施設
◎中心商店街へ人を誘導するような動線
◎国道２０７号バイパスと駅のアクセス道路の確保

バス・タクシー乗り場 (二次交通)
◎駅とバス乗り場のアクセス強化（車との動線重なりの解消）
◎雨に濡れない屋根付きの停留所
◎電車とバス・タクシーの乗り継ぎ動線短縮・機能強化
◎市内観光地や市外主要地点に向かう便数の確保
◎市内の医療機関や商業施設などに向かう公共交通の充実
◎観光客用のレンタカーやレンタサイクルの充実
◎環境に配慮した超小型モビリティ（電気自動車）の採用

駅舎
◎通学利用者等の待合機能強化（利用時間・冷暖房・Wi-Fi）
◎来訪者（観光客・ビジネス客）に対する情報発信機能強化（特に外国人）
◎二次交通案内機能（バス・タクシー・レンタカーなど）
◎土産物などの特産品の販売力強化
◎飲食ができる店舗
◎電車などを眺望できる場所
◎電車を利用しない人も集まれる機能
◎災害時の防災機能（避難機能）
◎改札からホームへの動線短縮
◎交通系ＩＣカードの利用
◎肥前浜駅のような古いものを活かす視点
◎清潔で利便性の高いトイレ整備
◎駅東側とのつながり創出

駅前交通環境
◎車と人や自転車の動線の重なりを解消し、安全性の向上
◎送迎車両の多重縦列駐車解消
◎歩道の整備
◎不要不急の通過車両の排除
◎飲食店送迎車両待機所の整備

駐輪場
◎雨に濡れない屋根付きの駐輪場
◎自転車を入れやすく出しやすい仕組み

市営駐車場
◎駅舎とのアクセス強化（動線短縮）
◎無料駐車時間の拡大（送迎車両の一時駐車）
◎雨に濡れない屋根付きの通路
◎災害時の防災機能（車中避難）
◎近隣商業施設との駐車場連携（買物客の無料利用）

凡例
- 駅
- 公園
- 病院
- 銀行
- 幼稚園
- 寺・神社
- 商業施設・店舗等

N　0　50　100 (m)

（全体構想再掲）

4）まちなか整備目標と基本方針の設定

「環境・交流循環拠点づくり」の考え方

課題への対応の 3 つの方向性でも示したように、「JR 肥前鹿島駅周辺地区」はこれまでの交通結節の場所から “交流循環” の拠点へ、また多良岳山系から市内の平野、さらには肥前鹿島干潟や有明海を結ぶ “環境循環” の拠点となっていくことが望まれます。

交流循環の拠点では、主役は市民や来訪者です。駅周辺地区での交流を目的とした、ゆっくり・のんびりと過ごしてもらう空間づくりを目指します。駅周辺地区には市民や来訪者の交流を生み出す施設や広場機能を有し、スカイロードやさくら通りともハード面だけではなく利活用によってつながることで(ex. スカイテラスチャレンジ)、人の循環を生み出していきます。北公園や旭ヶ岡公園などの広場、まちかどのポケットパーク、水の豊かさを象徴する水路なども中心部のそぞろ歩きを促す要素として活かしていきます。

環境循環の拠点では、駅周辺地区が多良岳山系から水田の平野と有明海の干潟に繋がる山と海の接点に位置していることが重要です。世界でも希有な干潟が山から運ばれた泥質の土と有明海の大きな干満差によってできていることを、山と海の環境が交わる場所にある駅周辺地区では同時に体感することができます。また、身近に水路などがある鹿島では、私たちの暮らしが大きな水循環の一部にあることを教えてくれます。このように、駅周辺地区は鹿島の豊かな自然を多面的に感じることができる、環境循環の拠点としてふさわしい場所にあると考えます。

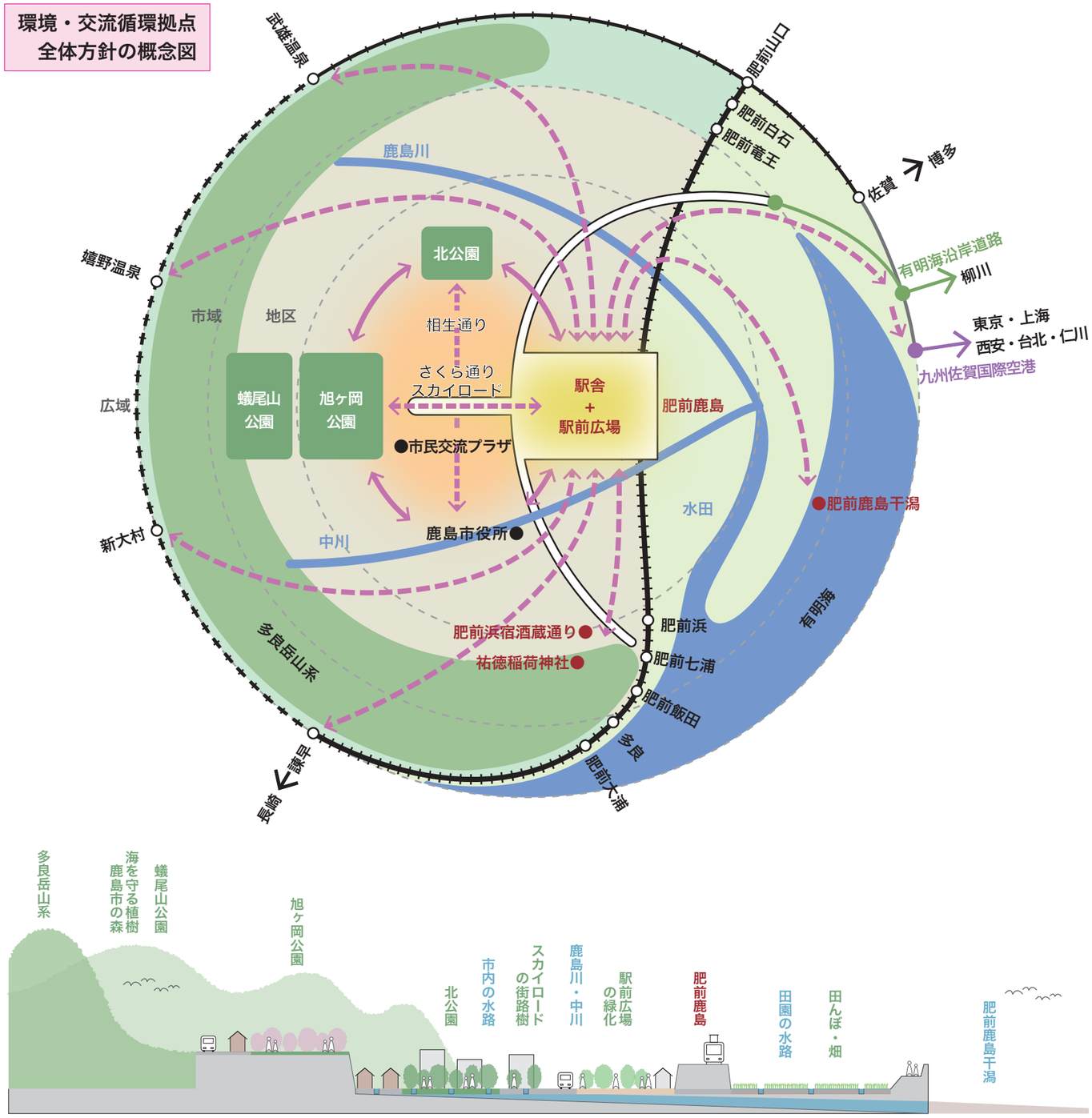
「JR 肥前鹿島駅周辺まちづくり」は、交流循環を促すことで人がつながり、環境循環を考えることで私たちの暮らしをもっと知っていくことを目指し、以下のようにテーマ（コンセプト）を設定します。

JR 肥前鹿島駅周辺まちづくりのテーマ (コンセプト)

「人と自然がつながる 私たちの“まちの駅”」

・地域を守り、磨き、新たに加えて積み上げていくまちづくりの姿勢が、鹿島に暮らし、鹿島を訪れる魅力の源となっています。
・駅は通勤通学の交通結節点であるとともに、暮らしの拠点であり、文化の拠点です。鹿島に暮らす人、訪れる人が憩い集う交流の場となることが期待されています。
・また、スカイロードとの繋がりを強化充実させていくことで、中心市街地の活力再生にも波及させ、持続性の高い、鹿島ならではの積み上げ方 (プロセスとアプローチ) によって「まちの駅」づくりを、市民の力で共に創りだしていきます。

環境・交流循環拠点 全体方針の概念図



(全体構想再掲)

・まちなかレベルのまちづくりのテーマ（コンセプト）とまちなか整備目標は以下のとおり

■JR 肥前鹿島駅周辺まちづくりの基本となる柱

JR 肥前鹿島駅周辺まちづくりのテーマ (コンセプト) :

「人と自然がつながる 私たちの“まちの駅”」

・地域を守り、磨き、新たに加えて積み上げていくまちづくりの姿勢が、鹿島に暮らし、鹿島を訪れる魅力の源となっています。
・駅は通勤通学の交通結節点であるとともに、暮らしの拠点であり、文化の拠点です。鹿島に暮らす人、訪れる人が憩い集う交流の場となることが期待されています。
・また、スカイロードとの繋がりを強化充実させていくことで、中心市街地の活力再生にも波及させ、持続性の高い、鹿島ならではの積み上げ方 (プロセスとアプローチ) によって「まちの駅」づくりを、市民の力で共に創りだしていきます。

整備目標１・
鉄道を中心とした交通結節点を強化し“まちの交流循環拠点へ”
・単なる交通結節点としての駅から駅周辺および周辺都市を含めた連携・回遊の中心となることで、まちの交流が広く循環する拠点となることをめざしていきます。

整備目標２・
豊かな暮らしや風景を感じられる“まちの玄関口としての肥前鹿島駅へ”
・肥前鹿島駅は、在住者や来訪者にとってのまちの玄関口として、周辺に点在する豊かな資源や活動等の情報を提供する場所として機能させていきます。

整備目標３・
歴史と文化を活かし“賑わいあふれ、人にやさしい駅周辺まちづくりへ ”
・肥前鹿島駅を含む中心市街地には、歴史と文化が重層するエリアでもあります。これらの資産を継承しつつ、まちなかに点在する“ネットワーク拠点”を連携させて駅との一体的なまちづくりを市民・行政・事業者の共創によって推進していきます。

5）駅周辺整備の方向性

・駅周辺レベルにおける整備の方向性は以下のとおり

■ JR 肥前鹿島駅周辺整備の方向性

【訪れる人が降り立った瞬間に、「鹿島らしさ」を感じられる駅】

・祐徳稲荷神社や酒蔵、面浮立等の伝統的な美しさが際立つ文化をはじめ、豊かな農林水産物等、世界から人を引きつける魅力ある鹿島市。
・魅力を磨き上げ、世界へ発信する視点を大切に、訪れる人が降り立った瞬間に「鹿島らしさ」を感じられる、唯一無二の駅周辺整備にこだわっていきます。

【県南西部の玄関口として、国内外から多くの人が訪れる駅】

・肥前鹿島駅は県南西部の玄関口として、広域的な交流の拠点であり、顔となる駅です。
・鹿島をはじめ、周辺エリアの魅力的な地域資源を目指して、国内外から多くのお客様が訪れています。
・鉄道を中心としながら、九州佐賀国際空港や、武雄温泉駅、嬉野温泉駅等、バスやタクシー等の公共交通でつながる広域交流拠点として、多くの人が訪れる駅周辺整備に取り組んでいきます。

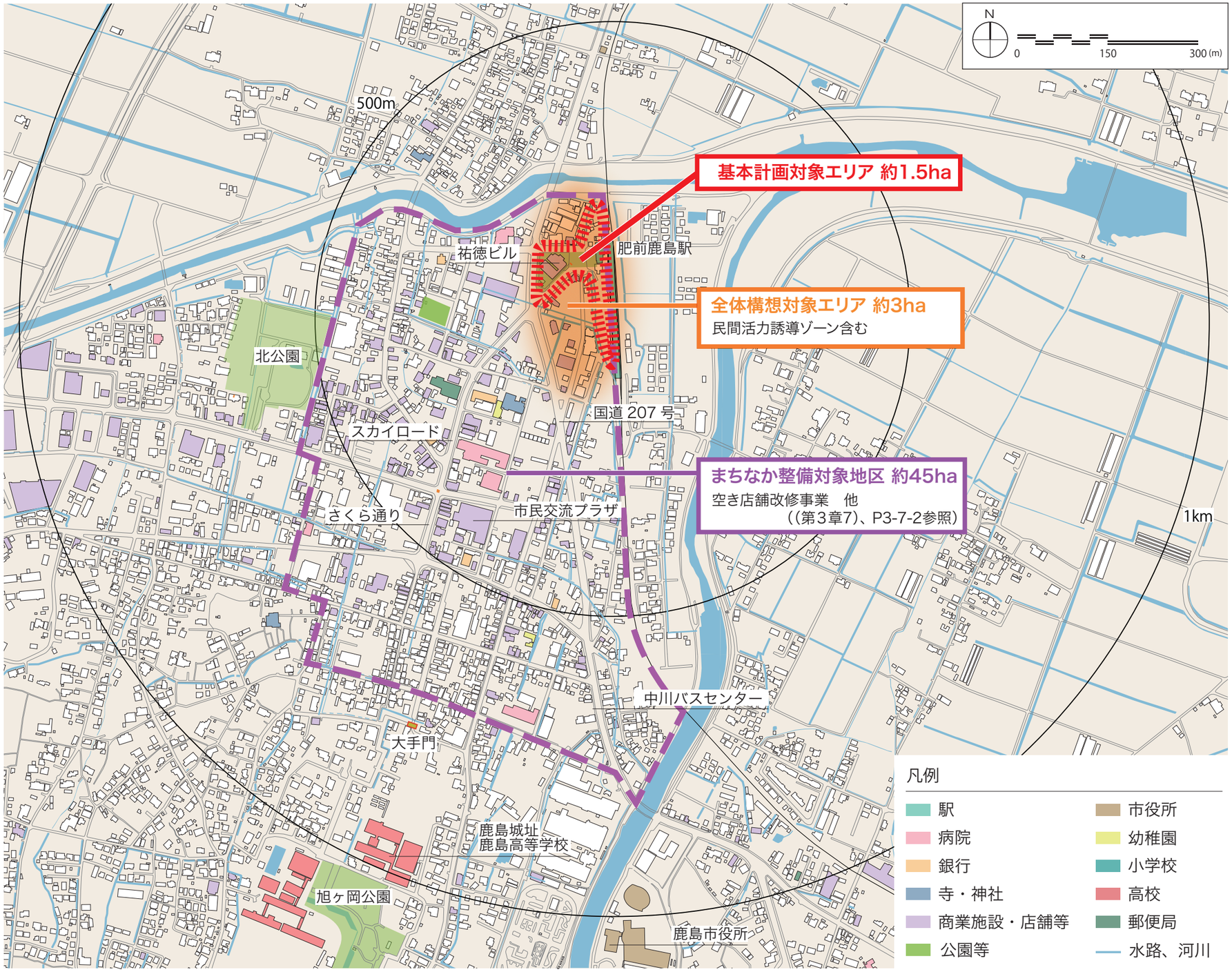
【市民自らが主体的に利活用し、魅力を発信する拠点としての駅】

・伝統文化を大切にしながら、市民同士の結びつきが強く、田澤義鋪をはじめ多くの人材を輩出してきた、人が育つ鹿島市。
・鹿島おどりや鹿島ガタリンピック、鹿島酒蔵ツーリズムなど、鹿島市の人々は地域資源を活かししながら、常に新しい価値を生み出してきました。これからの市民の暮らし、活躍の拠点として、新たな駅周辺の創出に取り組んでいきます。

（全体構想再掲、右半分追加）

7）整備対象地区

JR肥前鹿島駅周辺まちづくりの整備対象地区を下図のように設定します。



（全体構想再掲、一部追加）

(5) 基本計画として定めた施設配置・概要説明

基本計画として定めた施設配置および施設概要は以下のとおり

A 広域交流拠点施設(現駅舎)

整備が完了した肥前浜駅や肥前七浦駅と調和を取りながら、建築当時(昭和5年)の姿に復原再築し、駅利用者の居場所を整備し、観光ガイドセンター等を検討します。

B 広域交流拠点施設(新駅舎)

訪れる人が降り立った瞬間に「鹿島らしさ」を感じられるデザインとし、内部機能は来訪者や市民への情報発信機能や交通案内機能の強化、駅利用者の利便性向上などのため、広域交流拠点施設(新駅舎)を増設します。

C 公共交通ロータリー

路線バスやタクシー、市内循環バス、のりあいタクシー、リムジンタクシーなどの乗降場を確保します。高速バスや観光バスの乗降場も確保します。

D 一般車ロータリー

朝を中心としたお見送りの乗降場を確保します。夕方を中心としたお迎えの車両は市営駐車場に設置する送迎車両一時待機所の利用を促します。

E えきまち広場

中心市街地との連携強化のため、歩行動線を意識し、親子や高齢者等の多様な人々の居場所を目指します。また、キッチンカーやマルシェ、イベント開催等にも対応する広場空間の整備を行います。

F 賑わい拠点施設

中心市街地と駅とを繋ぐ場所に、住民・駅利用者相互が交流できる多目的な施設(建築物等)を整備します。

また、魅力と賑わい創出の拠点として、えきまち広場と一体的に検討します。

G 市営駐車場

電車やバス利用者の駐車場の機能に加えて、お迎え車両の一時待機所として活用します。駅舎への動線は展望広場を介した動線短縮を図ります。

H 西側駐輪場

自転車を使う高校生の通学動線はスカイロード側が望ましいため、えきまち広場西側に整備することを基本とします。

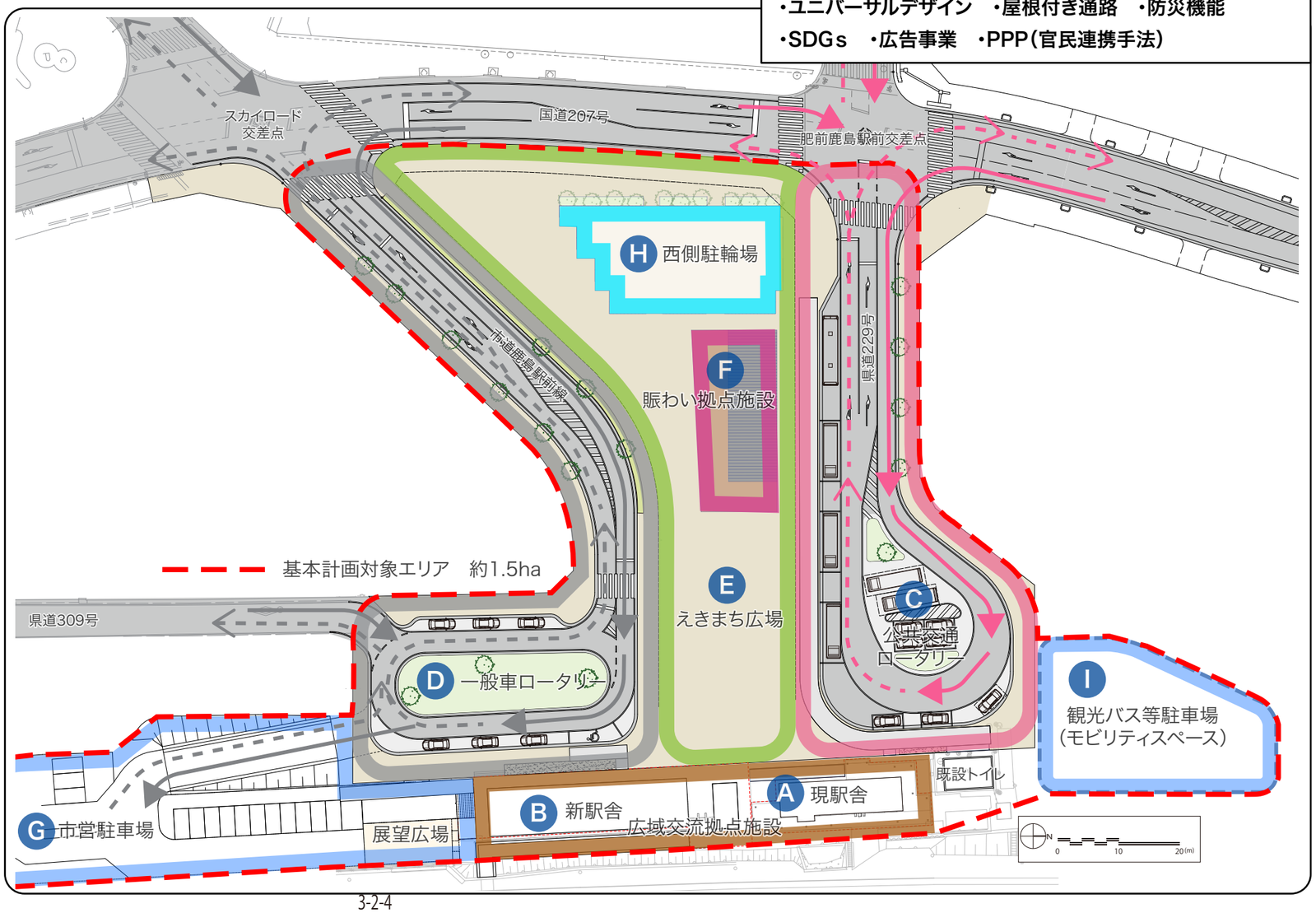
I 観光バス等駐車場(モビリティスペース)

現駅舎北側に観光バス(貸し切りバス)、レンタカー、グリーンスローモビリティー、シェアサイクルの駐車場(充電設備含む)の整備を検討します。

駅及び駅周辺の整備について、次の点を全体的に考慮する。

・ユニバーサルデザイン　・屋根付き通路　・防災機能

・SDGs　・広告事業　・PPP(官民連携手法)



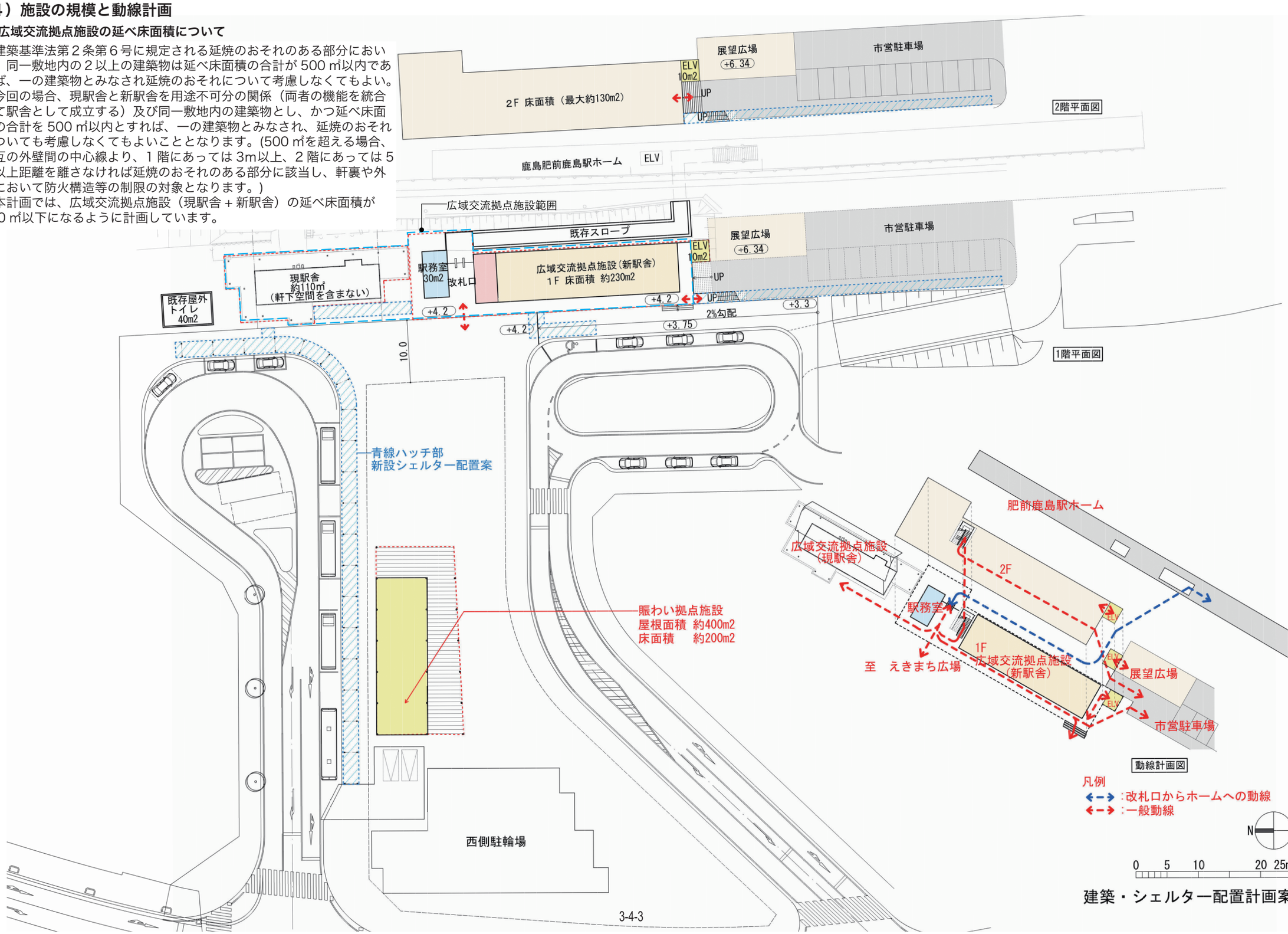
（4）施設の規模と動線計画

■ 広域交流拠点施設の延べ床面積について

建築基準法第２条第６号に規定される延焼のおそれのある部分において、同一敷地内の２以上の建築物は延べ床面積の合計が 500 ㎡以内であれば、一の建築物とみなされ延焼のおそれについて考慮しなくてもよい。

今回の場合、現駅舎と新駅舎を用途不可分の関係（両者の機能を統合して駅舎として成立する）及び同一敷地内の建築物とし、かつ延べ床面積の合計を 500 ㎡以内とすれば、一の建築物とみなされ、延焼のおそれについても考慮しなくてもよいこととなります。(500 ㎡を超える場合、相互の外壁間の中心線より、１階にあっては 3m以上、２階にあっては５m以上距離を離さなければ延焼のおそれのある部分に該当し、軒裏や外壁において防火構造等の制限の対象となります。)

本計画では、広域交流拠点施設（現駅舎＋新駅舎）の延べ床面積が 500 ㎡以下になるように計画しています。



5）交通施設

全体構想で決めた基本条件をもとに、利用状況や交通事業者等のヒアリングも行いながら下記のように設定しました。

< 全体構想で決めた基本条件 >

ダブルロータリー

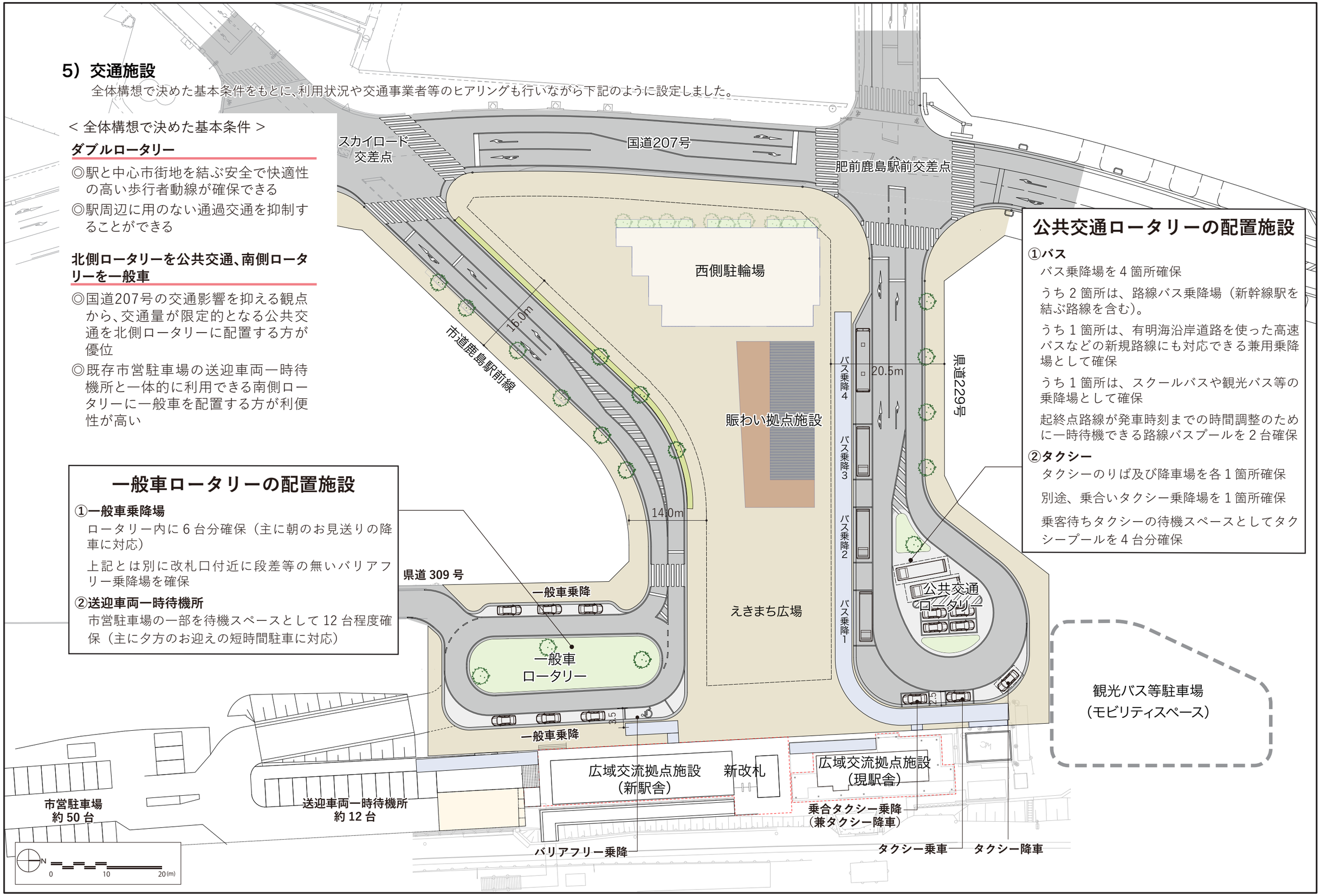
◎駅と中心市街地を結ぶ安全で快適性の高い歩行者動線が確保できる

◎駅周辺に用のない通過交通を抑制することができる

北側ロータリーを公共交通、南側ロータリーを一般車

◎国道207号の交通影響を抑える観点から、交通量が限定的となる公共交通を北側ロータリーに配置する方が優位

◎既存市営駐車場の送迎車両一時待機所と一体的に利用できる南側ロータリーに一般車を配置する方が利便性が高い



一般車ロータリーの配置施設

①一般車乗降場

ロータリー内に 6 台分確保（主に朝のお見送りの降車に対応）

上記とは別に改札口付近に段差等の無いバリアフリー乗降場を確保

②送迎車両一時待機所

市営駐車場の一部を待機スペースとして 12 台程度確保（主に夕方のお迎えの短時間駐車に対応）

公共交通ロータリーの配置施設

①バス

バス乗降場を 4 箇所確保

うち 2 箇所は、路線バス乗降場（新幹線駅を結ぶ路線を含む）。

うち 1 箇所は、有明海沿岸道路を使った高速バスなどの新規路線にも対応できる兼用乗降場として確保

うち 1 箇所は、スクールバスや観光バス等の乗降場として確保

起終点路線が発車時刻までの時間調整のために一時待機できる路線バスプールを 2 台確保

②タクシー

タクシーのりば及び降車場を各 1 箇所確保

別途、乗合いタクシー乗降場を 1 箇所確保

乗客待ちタクシーの待機スペースとしてタクシープールを 4 台分確保

広場のゾーニング・考え方　イベント時

前提条件

えきまち広場

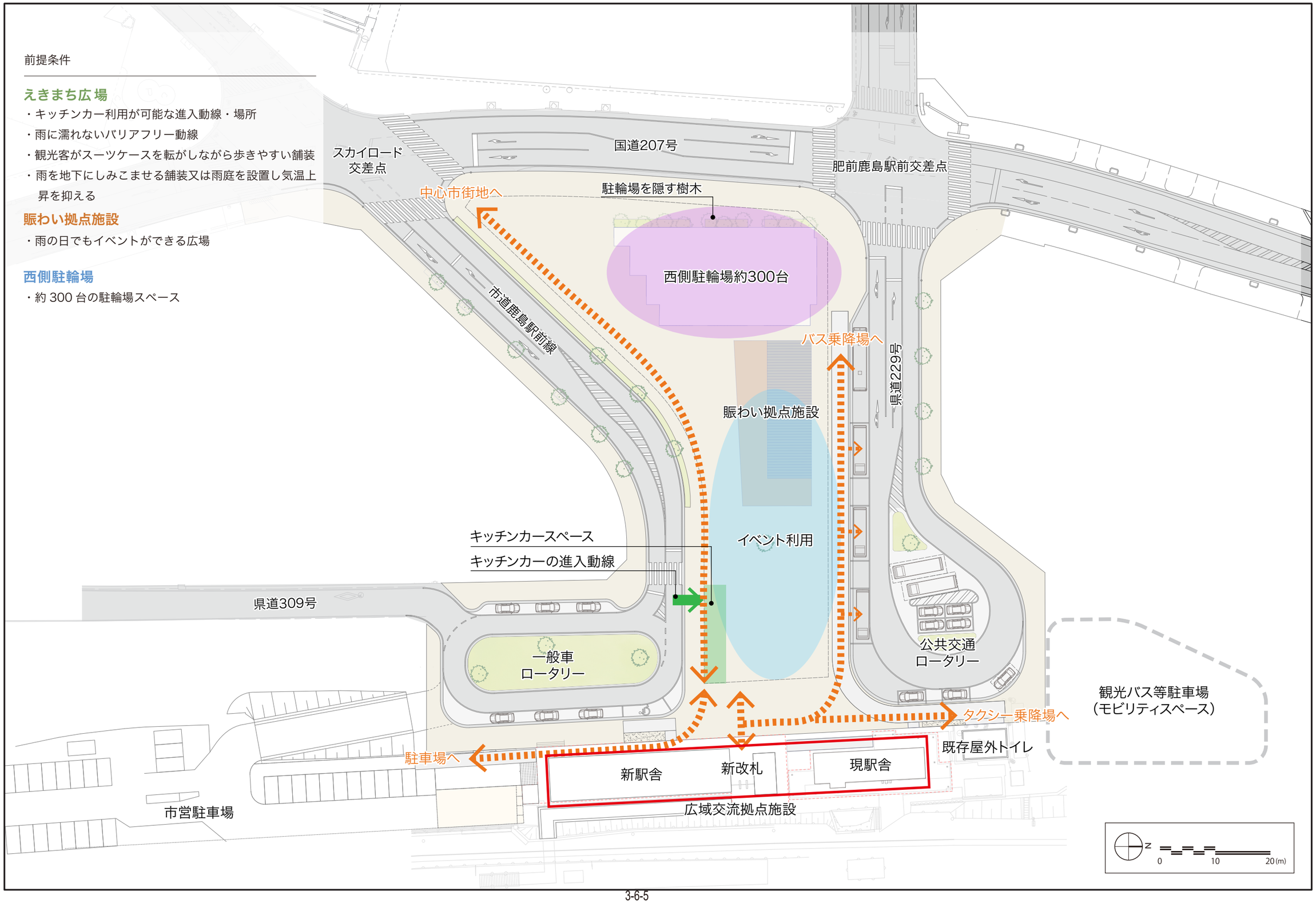
・キッチンカー利用が可能な進入動線・場所
・雨に濡れないバリアフリー動線
・観光客がスーツケースを転がしながら歩きやすい舗装
・雨を地下にしみこませる舗装又は雨庭を設置し気温上昇を抑える

賑わい拠点施設

・雨の日でもイベントができる広場

西側駐輪場

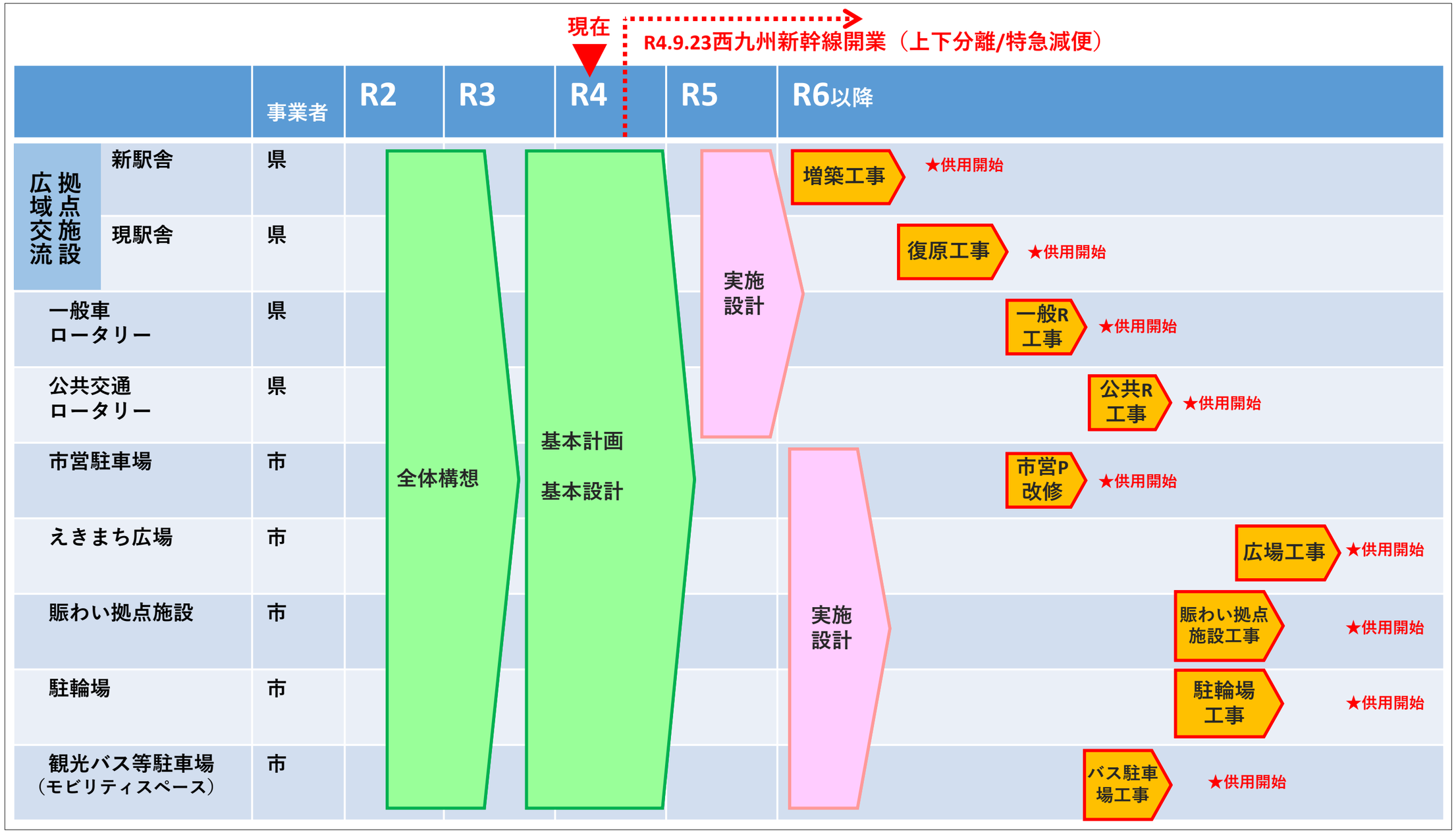
・約 300 台の駐輪場スペース



1）整備に向けたスケジュール

（1）全体スケジュール（案）

JR肥前鹿島駅周辺整備の全体スケジュールを下図のように設定しました。



報道資料

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料

主な行事予定（７月）

No.１

日時	７月１５日（金）	場所	浜町・古枝大村方区一帯
件名	浜祇園祭		
内容	今年は神事のみの開催（松岡神社）		
問合先	浜公民館	電話	０９５４－６２－２５３４

No.２

日時	７月１７日（日）	場所	七浦海浜スポーツ公園
件名	第３８回納涼ふるさと七浦夏まつり　おしまさん詣り（22：30～）		
内容	郷土芸能披露、皿おどり、鉦浮立競演		
問合先	七浦公民館	電話	０９５４－６２－８３２５

中止

No.３

日時		場所	
件名			
内容			
問合先		電話	

No.４

日時		場所	
件名			
内容			
問合先		電話	

No.５

日時		場所	
件名			
内容			
問合先		電話	

報道資料

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料

主な行事予定（８月）

No.１

日時	８月５日（金）～６（土）19：30～	場所	中心商店街（スカイロード周辺）
件名	第５９回鹿島おどり		
内容	中心商店街のスカイロードで鹿島一声浮立、鹿島節、鹿島小唄の３曲に合わせて踊る		
問合先	鹿島おどり実行委員会事務局	電話	０９５４－６２－３９４２

No.２

日時	８月２１日（日）7：30～	場所	祐徳グラウンド
件名	鹿島市消防団夏季訓練		
内容			
問合先	総務課	電話	０９５４－６３－２１１２

No.３

日時	８月２７日（土）20：00～	場所	鹿島川河口付近（北鹿島新籠富山海岸）
件名	鹿島市民納涼花火大会		
内容	３年ぶりの開催、（新型コロナウイルス感染症感染防止のため観客席なし）		
問合先	花火大会実行委員会事務局	電話	０９５４－６２－３９４２

No.４

日時		場所	
件名			
内容			
問合先		電話	

No.５

日時		場所	
件名			
内容			
問合先		電話	